

### 県中学校長会「働き方改革推進委員会」特集 第2回

前回は、県中学校長会「働き方改革推進委員会」各校における「教職員間の情報共有」でのDX推進についてお届けしました。

今回は、「生徒の主体性を育む、手をかけすぎない指導」をポイントに各校の取組をご紹介します。

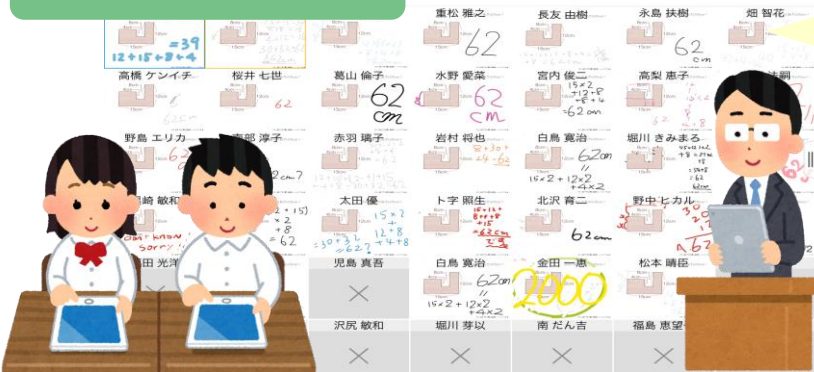
今年度、県中学校長会の特別委員会「働き方改革推進委員会」では、特にDXの推進、ICTの活用に注力して取り組まれています。今回、取材のお声かけを頂き、対象の学校へお伺いしました。

★対象の学校(取材順)⇒越前町立織田中(VOL.7で紹介済)、大野市上庄中、若狭町立三方中、坂井市立丸岡中、越前市南越中、おおい町立大飯中

Vol.16より複数回に分けて取組を紹介しています。さらなるGGKのために、検討のきっかけにしてみてください。

**キーワード:一人一台端末、地域、先輩の力を借りて**  
生徒の主体性のため、「手放す」代わりに新たな力を活用して好循環

#### 若狭町立三方中



※ロイノート提供のサンプル画面であり、実在する生徒のデータではありません。

#### ロイノートの活用で積極的な意見集約

- 図や図形を活用する理科や数学で効果的飛躍的に意見集約が向上した
- 意見・回答は教員の画面に集まるので、必要な生徒へ必要なサポートがすぐできる
- 集約した意見・回答の非表示・表示を選べるので、見せたい生徒の画面のみを全体に共有可能
- 美術や体育ではカメラを活用し学び合いができる

#### 校外学習・修学旅行にGoogle Classroom

●Classroomにあらかじめ連絡用のストリームを準備、全教員、全班で見られる態勢を整える

●班別行動で1班に1台タブレット持参(班長など)

●チェックポイント通過や、遅れなどを各班から投稿することで、全教員(引率以外も含む)が状況把握でき、適切な対応が可能。次の学年の参考にもなる

●宿泊先でその日のうちに自主的に学びをまとめられる



Google Meetと併用することで  
ビデオ通話も可能!

#### 越前市南越中

生徒会長・各委員長・級長等からの  
大切なお知らせもTeamsで  
ICT担当が予め全校・学年・学級のチームを編成

- 担当教諭と相談の上、発信の許可が出たら、生徒自身のアカウントで発信する  
例) 放送委員長:お昼の校内放送曲リクエスト Formsを用意し受付もオンライン
- 各学年 :学年イベントの説明を発信  
事前にルールを読んでもらうことで当日は説明時間を短縮でき、競技に集中できてスムーズ

- アカウント名でフルネームが表示されるため、「見られている意識」を常につけることができる←投稿に対して荒らしたり茶化すようなことは起きていない
- 生徒総会資料:事前PDF配布で活発な質疑・議論

#### 体育祭練習・文化祭、生徒会活動で タブレット活用

- 体育祭の色別ダンス 生徒主体で振り付けを考え、練習用に事前に共有⇒自宅で覚えらる⇒練習時間の短時間化、苦手な生徒の精神的負担軽減
- 文化祭や集会で放映する動画やスライドを生徒が編集し作成  
⇒どちらも先輩の姿を見て後輩が学んでいく
- 生徒会の提案、発表、アンケート(校則改正等)で活用



#### 坂井市立丸岡中

#### 地域や高校とも連携でレベルアップ 丸岡愛が高まる「丸岡LOVERS」



- 郷土愛を育める探究活動「丸岡LOVERS」市や大学、県立丸岡高校の「地域協働部」も中間発表会に参加  
データのとり方(アンケートフォームの活用)や収集したデータの活用の工夫、新しいアイデアなど多岐にわたるアドバイスをもらえて、さらなる学びに

- ほかにも…  
★各学校行事で「縦割り」「生徒主体」を重視  
例) 体育祭の運営では、体育委員会が主体  
生徒総会で教員はあくまでギャラリー  
⇒生徒の聴く姿勢が育ち、生徒会運営の好循環

#### \*編集後記\*

働き方改革の目的は、決して「教員が楽すること」ではなく、すべきことが膨大な中で、「子どもたちが生きる力を育むためのゆとり作り」です。

生徒主体の活動にしていくためには、なにかを「手放し」⇒「任せ」⇒「見守る」ことが必要です。一時的に教員にとっては負担が増すことがあったり、生徒たちにとっても時間がかかることが増えるかもしれません。

そこに、タブレットの効果的な活用や地域の方の協力が入ることで、負担軽減になったり、新しい好循環を生み出せると良いですね。

次号 VOL.18も  
お楽しみに!

